



全国の仲間と市東さんの農地守り抜く決意新たに

7/11 天神峰檜の木まつりを開催

7月11日、成田市天神峰の市東孝雄さん宅中庭で第4回天神峰檜の木まつりを開催しました。全国から駆けつけた150人の仲間と農地を守り抜く決意を新たにしました。

初夏の日射しが降り注ぐ中、市東さんが日々耕す南台農地に参加者が集合。事務局の伊藤信晴さんは、相川勝重芝山町長による会場の貸し出し拒否問題についての経過報告と撤回までたたかう決意を語りました。さらに集会・言論弾圧と並び、戦時徴用に等しい農地取り上げ、第3滑走路建設強行は軍事的要請が背後にあると警鐘を鳴らしました。

決戦本部長の太郎良陽一さんの司会で、強制執行阻止の泊まり込み態勢を取ってたたかう現地の仲間たちから畑を守ろうと訴えがありました。

シュプレヒコールを上げ、市東さん宅前まで元気にデモ行進。中庭で4回目となる檜の木まつりへ。

東峰の萩原富夫さんが主催者あいさつを行いました。最高裁上告棄却決定を弾劾し、閑古鳥が鳴く空港建設と闘い、市東さんがこの地で生活できるように支え抜く決意を述べました。

その後、地元の労働組合・動労千葉をはじめさまざまな支援団体の連帯発言を受けました。歌やくじ引き抽選会なども行い、緊迫した状況の中でも、和やかかつ活気あふれる交流が行われました。

市東さんは、「闘いは裁判だけでは終わらない。体の続く限り畑を耕しながら、国策とたたかう福島・沖縄、市民運動や学生運動と連帯しこれからもたたか

う」と決意を語りました。

最後に、参加者全員で団結ガンバローを三唱しました。



150人の仲間と共にデモ行進に立つ



川口真由美さんを招いてミニライブ



太郎良さんの音頭で団結ガンバロー三唱

田村明比古NAA社長 に怒りの声を！

成田空港会社（NAA）の田村明比古社長は、国・空港公団（現NAA）がこれまでの暴力的な空港建設を謝罪し、「二度と強制的な手段は用いない」「今後は住民との話し合いによってすすめる」と公に約束したことを踏み破って市東さんへの農地取り上げ強制執行を行おうとしています。絶対に認めることはできません。騒音・落下物の被害が相次ぐ中、さらなる飛行時間延長、敷地面積を2倍化する空港機能強化に黙ってはいけません。命が奪われかねません。コロナ感染をめぐるNAAの対応のずさんさも許せません。田村社長へ怒りの声を集めましょう。



- ☆市東さんの農地を奪うな！
- ☆騒音・落下物被害をなくせ！
- ☆飛行時間延長を今すぐやめろ！
- ☆空港機能強化を白紙に戻せ！
- ☆空港労働者への感染対策を行え！

【抗議のあて先】

〒286-0104

千葉県成田市古込字古込1-1

TEL: 0476-34-5400

成田国際空港株式会社 田村明比古 殿

バブルも崩壊！ 命を犠牲にする五輪強行反対！

成田を閉鎖し五輪は中止！

東京都内の新規感染者が4日連続で1000人を超えるなど新型コロナ感染が急拡大しています。菅政権は、飲食店に時短営業・酒類の販売停止を要請し、学校行事や各種イベントの軒並み中止・縮小を強制する一方で、医療スタッフやボランティアを五輪に動員。私たちの生活と命を犠牲に、一切を五輪優先とするあり方にもう我慢は限界です。

五輪開催の大義が示せないことに焦ったIOCのバッハ会長（通称「ぼったくり男爵」）は「平和の祭典」を装うために広島を訪問。ところが、「被爆地の政治利用は許せない」と被爆者の怒りを買って「帰れ！」と弾劾されました。組織委員会は本日（18日）迎賓館で、このバッハ会長の歓迎パーティーを行おうとしています。断じて許せません。

そもそも、「国民の命と健康を守ることが開催の前提条件」「条件が崩れれば行わない」と6月に国会で宣言していたのが菅首相です。

現在の状況はどうでしょうか。東京都は13日段階で「ステージ4（感染爆発）」、千葉県も16日、2回目の緊急事態宣言解除以来最多の感染者数となっています。

その大きな要因が空港検疫のずさんさにあります。同じ便に長時間乗っていた人たちを機体から降りた後に動線分離する「バブル方式」の有効性がどこまであるかも疑問ですが、「選手団と一般客の完全な遮断は不可能」と国の担当者も認めざるを得ない状況です。

その結果、ウガンダ、セルビア、イスラエルのほか、数カ国の選手団から陽性者や濃厚接触者が多数出ています。

直近では13日、成田に到着した男子7人制ラグビーの南アフリカ代表が同じ便に乗り合わせた一般客が陽性だったため濃厚接触の候補者となり、一時滞在施設に移っています。14日には、女子7人制ラグビーのロシア代表のスタッフが、日本到着後の検査では陰性だったにもかかわらず合宿先で陽性となり入院。15日夜、ナイジェリア選手団の一人が成田の検疫で陽性となり都内に入院。組織委員会は17日、国籍、性別、入国日も非公表で選手村でも陽性者が確認されたと発表しました。17日一日で大会関係者15人の陽性が判明しています。

羽田空港近くで働く医師は「毎日空港内の労働者が感染している」と警鐘を鳴らしています。成田はなおさらです。医療逼迫（ひっぱく）を招く、殺人的な五輪強行は中止すべきです。

感染爆発のインドネシアからの帰国者は「東京五輪で成田や首都圏のホテルの確保ができない」と、抗原検査後に成田から中部空港に送られ10日間の待機を強いられています。五輪関係者には待機はなく、陽性者のすり抜けからクラスターの発生、病床の逼迫といった事態は容易に想像できます。

五輪中止！公的医療の拡充に全力を挙げろ！ の声を共に上げましょう。

地域住民の声

今回は第4回天神峰檜の木まつりに寄せられた騒音下住民からの2つのメッセージを紹介します。

◆人間扱いしない横暴許すな。市東さんの農地死守、20時間飛行断固反対 騒音下南部住民A

6月8日に出された上告審、異議申し立て請求の却下という決定は、市東家の後裔（こうえい）として継承した農地を奪い去る強盗団に司法が加担した決定だと思えます。

市東さんの農地の上、ひと様の土地の上に説明もなく滑走路を造ろうとしている輩（やから）こそが愚（おろ）か者であり、そのうえ司法が加担するならば日本は本当に終わりだと思えます。

コロナ感染症がもたらしたパンデミックはNAAが描く航空需要の願望的予測値を失墜させました。したがって、市東さんの大事な農地をコンクリートで覆い固める必要はまったくありません。また、騒音下住民に向けられた発着回数50万回、飛行時間20時間という想像もつかない劣悪な環境を作り出すことも必要あり

ません。

成田空港建設では、三権が分立せず、すべて権力が一体となり市東さんを初め騒音下住民たちの生きがいや人権、静穏権を無理やり奪おうとしています。住民を人間扱いしていません。そんな輩の横暴を許してはいけません。断固糾弾しましょう。みなさん、正義を貫きましょう。

◆不誠実・不条理・理不尽な成田空港会社と国交省とたたかう。

茨城・騒音下住民

市東さんの農地を農地法でとることは絶対にあってはならないことです。私の家は農地改革で土地を手放した方ですが、農地法の精神は理解しています。

国交省・成田国際空港株式会社は、不誠実な対応で、道理が通らないことを平然と行います。

稲敷市の説明会の時に、異議を唱える人物をにらみつける。私に対してもにらみつけ方がすごかったのですが、千葉県でも同様のことをしているのだろうと思えます。

空港機能強化策において茨城県や稲敷市は住民の騒音被害と向き合わず、やっかい者扱いですが、千葉県の経験を教えていただき、共に不条理・理不尽な成田空港会社・国交省とたたかっていきたいと思えます。

※前号でお知らせしていた7/28新やぐら裁判控訴審はコロナで延期となりました。第1回は10月20日（水）午後2時～東京高裁大法廷となります。